

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 はぐはぐ子ども村西都

保護者等数(児童数)11

回収数11

割合 100 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	0	0	0		活動スペースは十分だが室内での集団活動スペースは確保するために工夫している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	0	0	0		集団療育をベースとし個別対応では各療法士と協力しながら専門性を高め継続していく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	0	3		女子トイレは車いす対応になっている。室内は絵やカードを使用し利用児に分かりやすく構造化している。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	0	0	0		個々の発達にあった支援内容を考え、保護者のニーズも踏まえた計画を作成している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	0	0	0		発達状況に合わせて職員全員で共通理解が持てるようケース会議、日々の朝礼、夕礼等で検討、実施している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	2	0	4		年に2回全事業所、地域の方に声をかけ交流の場を設けたり、同法人の運営する日中一時預かり事業の子ども達と合同レクリエーション等を行い異年齢の交流をはかる場を設けているが昨年からコロナで実施ができていない。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	0		契約時に分かりやすく説明を設けている。今後もより一層分かりやすく伝えていくようにする。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	11	0	0	0		メールや個別支援の確認の時に様子や課題を伝えていくが、お迎えの時に口頭で子どもの様子を伝えられるよう心がけていく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	0	0	0		育児に関する支援はメールや個別面談にて対応しているが、今後も保護者に寄り添いながら気軽に相談できる雰囲気作りを心がけていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	1	3		父母の会、母子通園が無い為、合同行事で交流する時間を設けているがコロナで2年できない状態が続いている。今後保護者間の交流が取りやすい環境づくりに努める。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	0	1	苦情を言う機会は無かった	毎月の日々のミーティング、ケース会議に加え、園長にも助言をもらいながら迅速な対応に心がけている。保護者の希望があれば担当者会議を開き対応していく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1	0	0		おたより帳がないぶん、保護者の方とメールや電話で情報共有をしたり、成長を伝えるよう務める。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	0	0		日々の様子は毎月のおたよりの写真等を通して発信している。昨年の評価アンケートで質問の多かった課題は6月に文書にて配布した。今後も貴重なご意見をふまえての改善と発信に務める。
14 個人情報に十分注意しているか	11	0	0	0		個人情報の取り扱いについては職員に徹底させているが、今後とも引き続き細心の注意をはらって取り扱っていく。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	0	0	1		昨年災害時の避難場所や訓練についての回答を保護者様宛に文書にて発信したが、契約時に丁寧に説明したり防犯、感染症などの周知は説明不足を感じている為、今後改善していきたい。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	0	0	0		毎月地震、火事、土砂崩れ、洪水などの訓練計画を立てて子ども達と実施し、時々おたよりに掲載する形で保護者の方へお伝えしている。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	0		今年度は太鼓、リトミック等の課題活動もあり、始めは自由遊びが減って嫌がる児童もいたが、みんなで音を合わせて達成感を感じることができたり、リトミックで小集団で作るリズムのある時間を楽しめることが増え笑顔多く活動している。沢山の経験を重ねていき、個人個人の中の「できた・やれた」という気持ちを大切に今後も心がけていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	11	0	0	0		計画に沿った支援が行われているか、支援の方法はこれでいいのか常に検討、見直しをしながら運営していく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されている。